

文化講演会

「金沢八景の歴史」

NPO法人 横浜金沢文化協会会報

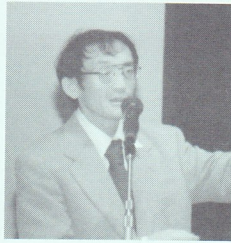


NPO法人 横浜金沢文化協会
編集人 野中 建吾
81-5044
発行人 後藤 政也
印刷 幸栄印刷(株)
716-3366

第2部は、金沢吟剣詩舞道連盟の皆様による金沢八景の「八つの名勝」の詩吟によるオムニバスの紹介で、聴衆はその美声に酔い痴れていました。

NPO法人横浜金沢文化協会は2月27日(土)、

金沢公会堂において、「金沢八景の歴史」と題する3部から成る講演会を、金沢八景の自然と史跡を守る会と共催しました。なお、金沢街づくりの会・横浜金沢観光協会・NPO法人横濱金澤シティガイド協会の後援も得ました。雨もようにも拘わらず300人以上の聴衆の参加を見ました。

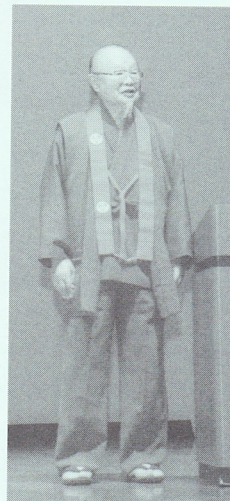


第1部は、歴史研究家の盛本昌広先生による「江戸時代の金沢八景」と題する講演でした。先生は今まで

等にて我が国の中・近世史について興味津々たる講演をされてその都度好評を得て来ております。今回はスライドを使用しての江戸時代の金沢八景の土農工商における実態を、分り易く紹介して頂きました。



直轄の東照宮遺跡や円通寺客殿の建築物などの文化的保存が実現されることを願っています。



第3部は、金沢区名物の茅葺き屋根のお屋敷II旧・円通寺IIの主人で「旧・東照宮」の神官の末裔でいらつしやる木村隆男氏の和服姿で雰囲気を出された「旧東照宮・円通寺客殿・権現山等」と題する講演でした。ともすると、固く

なりがちな講演会の雰囲気、ユーモアを交えた口調で、歴史的由緒あるこれら建築物等の文化的価値と保存について熱弁されて、聴衆の共感を呼びました。この地域を歴史公園として徳川幕府

NPO法人

横浜金沢文化協会

定期総会

5月23日(日)、午後

1時30分、能見台地区センターにて、平成22年度総会が開催された。司会は白井副理事長。

冒頭に後藤理事長より、NPO法人という責任ある団体として他団体とも協調し、発展的に事業を推進して行きたいと力強い挨拶があった。来賓の金沢区吉田副区長は、地域の文化活動への貢献に対する謝辞と今後の活躍に期待する祝辞。松崎県議会議員から参列議員の紹介と感謝と期待を込めた祝辞。議長には野中副理事長が選任された。議事は次の通り。



第1号議案 平成21年度事業報告並びに収支決算報告。

第2号議案 平成22年度事業計画案並びに収支予算案。

第3号議案 任期満了に伴う新役員の提案。24名の理事及び2名の監事。

第4号議案 事務所移転に伴う定款変更の件。

第5号議案 議事録署名名人選任の件。以上満場一致で全て承認され、総会は午後4時過ぎ、無事終了した。



「横浜金沢を詠う」 平成21年度後期俳句・短歌表彰式

横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会主催
「俳句短歌ポスト制度」の第3回(平成21年度後期)
表彰式が4月30日、金沢区民活動センターにて
行われました。
次に被表彰作品を紹介します。

【俳句の部】

☆横浜市金沢区長賞

- (天位) 露時雨昼を灯して二松庵 金沢区寺前 上原 宏江
- (地位) 初漁の船待つ人や柴漁港 栄区本郷台 秋元 孝之
- (人位) しおつくり れきしあふれるロマンかな 金沢区富岡西 (中巻北 翼

☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員長賞

- (天位) 頼朝の福石ずしり返り花 港南区日野南 金子 きよ
- (地位) ぼけ封じ願う観音水仙花 金沢区富岡西 高田 道子
- (人位) コアラさんかわいいかおでいやされる 港南区大久保 (不巻笠原 鞠乃

☆NPO法人横浜金沢文化協会理事長賞

- (天位) 神杉のみどりこぼるる富岡宮 千葉県君津市 磯貝 誠次
- (地位) 瀬戸の名を今に伝へてけふの月 金沢区六浦南 岩澤 正春
- (人位) 鐘楼の茅葺の空冬の鳴 磯子区中原 嶋原 幸子

☆横浜金沢観光協会会長賞

- (天位) 石路の花明治の香る博文邸 金沢区並木 大井 実
- (地位) 八景の波悠然と初御空 金沢区釜利谷西 鏡 保太郎
- (人位) シドニーと違ふ正月コアラ館 金沢区富岡西 大川 一馬

☆NPO法人横濱金澤シティガイド協理理事長賞

- (天位) 朱の橋に銀杏黄葉のあかりかな 金沢区釜利谷西 山本かつみ
- (地位) 小柴田基地走り出したし草もゆる 金沢区長浜 柳原 米一
- (人位) 遠き世の瀬戸の波音春近し 金沢区泥亀 太田 修

【短歌の部】

☆横浜市金沢区長賞

- (天位) 新装の博文邸の掃帆の間 金沢区東朝比奈 津田美奈子
- (地位) 真白なる行灯水面にゆらぎつ、 金沢区平潟町 本間 和子
- (人位) 初詣の賑はひ失せし御社に 金沢区釜利谷東 秦 正子

☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員長賞

- (天位) 初不動護摩の焰の高く揺れ 有為慎まむのうまくさんまだ 金沢区平潟町 小幡 史子
- (地位) 如月の六国峠日本晴れ 鳥さえずりて白梅の散る 磯子区磯子 木下 瑞子
- (人位) やつぱりシーベラはみんなのあこがれの 遊び場一番ベルギーがかわいいな 南区日枝町 (不巻川端 真歩

☆NPO法人横浜金沢文化協会理事長賞

- (天位) 細波に朝の陽踊る金沢の浦に 船待つ釣り人の群れ 横須賀市鷹取 阿部 文彦
- (地位) 朝の間の潮風ぎをれば琵琶島の 朱の橋渡り弁天拝す 金沢区六浦 佐藤 良二
- (人位) 柴の蔭小犬をめざし急降下 猛き風圧残し反転 金沢区西柴 内藤 和子

☆横浜金沢観光協会会長賞

- (天位) 花吹雪心もしのに浴びをれば 赤井の谷に鶯鳴くも 金沢区釜利谷東 松本 嘉猷
- (地位) 水澄みて優雅におどる錦鯉 楓は歌う称名寺かな 金沢区東朝比奈(重巻杉本ありさ

☆NPO法人横濱金澤シティガイド協理理事長賞

- (天位) 元熱の吸ひし野島の潮の香を 世紀を越えて我が胸深く 金沢区堀口 木村 靖一
- (地位) 移りゆく今八景の風景を 心越禅師なにをおもわん 金沢区並木 齋藤美恵子

文芸部活動報告

☆金沢区民俳句大会結果☆

金沢俳句会では6月6日、金沢地区センターに、
36人の俳句愛好者を集めて、第12回金沢区民俳句
大会を開催しました。
次に上位の作品を紹介します。

次に上位の作品を紹介します。

- 万緑の包み残せし天守閣 小幡 友子
- その影を川に泳がせ鯉のぼり 藤森 志津
- 夏帽子つばの広きは悪女かも 津田美奈子
- 万緑や右脳左脳に活貫ふ 戸田 澄子
- 更衣して清貧の身は軽し 赤嶋 昌夫
- 平凡に生きる幸せ茄子の花 五味 夏子
- 老鶯やいくさを経たる谷戸の径 北野 一清
- 蹴りながら譜面飛び出すあめんぼう 阿部 文彦
- 瀬音立つ湯浴みの肌夏の月 田中 徳明
- 新緑の波の行き着く宮の森 徳明

☆金沢区民短歌大会結果☆

金沢区民歌人会では5月16日、八景コミュニティハウスに32人短歌愛好家を集めて金沢区民
短歌大会(春季)を開催しました。
次に上位の作品を紹介します。

- ボール蹴る少年の声校庭の 朝井 恭子
- 万葉の花に吸われゆきたり 旅人の背も暖めて春の陽は 光岡コト子
- 水芭蕉生う田の面に及ぶ 「芍薬が紅筆ほどに伸びました」 市川 定子
- 文字生き生きと友の便り来 終戦後の食糧難を懐かしみ 建吾
- 酔味増和へにと土筆を摘みぬ野中 眠り安らぎとときに夢見て 秦 正子

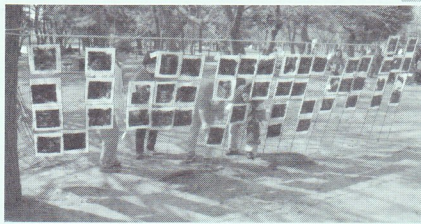


金沢区青少年文化伝承事業 海苔づくり教室の開催

かつて金沢では海苔の養殖が盛んで、海苔は金沢特産の一つであったが、並木地区の埋立造成でその姿は完全に姿を消した。平成期に入り、野島の前浜で海苔養殖が再開され始めた。

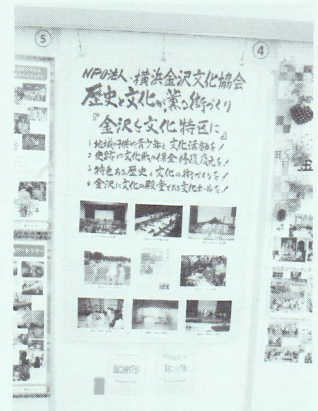
そこで、子供達に昔ながらの手作業による海苔づくりを体験してもらおうと、青少年文化伝承事業の一環として、昨年「海苔づくり教室」を開始した。今年は3月20日(土)、野島公園内の青少年研修センター前にて、33人が参加して開催した。

当日は朝から、風が強く、乾燥の際海苔が飛ばされる心配があった。1人2枚を作り、完全には乾燥しなかったが、参加した子供たちは喜んで、海苔簀に付けたまま持ち帰った。なお、海苔付後は、海苔が乾燥するまで、スタッフが子供たちを野島山頂へ案内し、区内の史跡や各種施設を遠望案内した。しかし、海苔に関する講座は、適当な場所の確保が出来ず、実施出来なかったため次回から研修センターで行う予定である。



横浜金沢文化協会は、8月8日(日)から14日(土)までの一週間、金沢区民活動センター(ゆめかもん)展示コーナーにて開催された、同センター主催の「街のサークル 活動紹介展」に参加し、当協会の活動目的等と各部門の活動状況写真を掲出して、会員募集活動の一助としました。

「街のサークル」活動紹介展に参加



第9回瀬戸神社 居合道奉納演武



当奉納演武は、今年で9回目になり、居合道奉納演武実行委員会(代表・高田學道先生)が、次の様な趣意により行っています。「我国古来伝承の古武道である居合道を後世に正しく継承伝授せしめんがため、また斯道を通じて青少年の善道を目的とし、1500年前古墳時代を起源とする、伝統ある瀬戸神社にて居合道を奉納し、文化の町金沢並びに居合道の発展隆盛を祈念するものである」
本年も5月22日(土)、瀬戸神社境内にて好天のもと、神前拝礼、開会の辞、国歌奉唱、来賓祝辞、代表挨拶と続いた後、来賓、一般の方が見学する中、各先生・各剣士による気合の籠る演武が行われました。
また本年は、当日本居合道協会の海外支部である北欧のスウェーデン、フィンランドから、多数の外国人剣士が来日して、素晴らしい演武を披露しました。
なお、今回は多数の外国人達の参加により国際的なイメージの強い演武会でありました。

金沢の文化ふれあいセミナー

4月4日(日)午前9時半から、木村氏邸内で開催された。今年で27回目を迎えた。

参加者は延べ172名で、うち野点には56名、権現山・お伊勢山散策には80名が参加した。

野点は、好天気のもとで木村氏自宅前桜満開の特設舞台で行われた。

権現山・お伊勢山散策参加者は初めての方が殆んどで、天然記念物指定の豊かな樹叢が生育する自然に、関心をもたれ、次世代以後も緑の保存を望まれていた。

午後からのセミナーは、先ず木村家当主の木村隆男氏が鎌倉末期から東照宮建立までの由来と、旧円通寺客殿の保存について、続いて神奈川大学名誉教授の西和夫氏が、「金沢八景に東照宮があった」と題して、①当地にあった東照宮のイメージ②古絵図にみる東照宮と円通寺③旧円通寺客殿の現状と復原の特色等を、それぞれ講演された。



第40回 金沢吹奏楽団定期演奏会

「かなすい」は、5月4日(火)に実施致しました40回を記念する定期演奏会の会場に神奈川県立音楽堂を選びました。かつて音楽のメッカであった県立音楽堂での演奏会には特別の思いがあります。至る所に米軍の接収地が残っていた1954年、日本初の本格的音楽専用ホールとして完成した県立音楽堂は、壁面がすべて「木」で作られており、古く狭い舞台裏は快適とはいえませんが、シューボックスのホール全体が自然と創り出すその美しい響きは未だに衰えが見えません。残響がすべてコンピュータで設計し尽くされた現在のホールとは全く

違った「木」の質感を備えたホールの中で、当日は、ご来場いただいた皆様と吹奏楽を十分楽しむ演奏会を行うことが出来ました。ご来場本当にありがとうございました。

「かなすい」はおかげさまをもちまして、2011年11月に創団50年を迎えます。9月19日(日)「秋のコンサート」を皮切りに、これから2012年の秋まで、「かなすい」は生まれ育った金沢区を中心に多くのコンサートを企画いたします。第2弾は、12月19日(日)の「クリスマス・チャリティー・コンサート」です。ぜひ、皆様お誘いあわせの上、ご来場下さい。



二本柱にして、幅広く区民の皆様と手を携えて行きたいと思っています。11月の公募「第3回金沢区美術展」に向けて一丸となつて活動しています。文化協会の協力を頂き、能見台地区センターで開催します。



この展覧会は美術協会会員による展覧会で出品者56名、作品数88点で行われました。連日、猛暑の中、大勢の方々(来場者数2248名)に見ていただき、貴重なご意見ご感想を受け賜り、大変勉強になりました。JCNケーブルテレビの取材を受け、7月27日と週末に放映され、会員一同、心より感謝しています。美術協会では、毎年会員展と公募展を

第2回
金沢区美術協会展

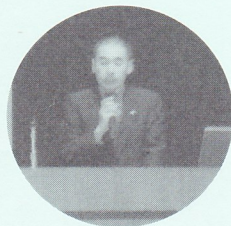
平成22年7月23日(金)～7月28日(水)まで
横浜市民ギャラリー(関内)で「第2回金沢区美術協会展」が開催されました。

平成22年5月1日(土)、金沢茶道会は五月晴れの緑に囲まれた園庭にて、今年も野点に協力させていただきました。実行委員会等による前日からのご準備で、火の元や水廻りの他、園庭ならではの風情ある野点の調えで、お菓子は地元の「紅谷」、お水は好評の「はまつ子どうし」を揃えて戴き有難く思いました。開園前から長蛇の列が続く区長様はじめ大勢の参加者がありました。「端午」の趣向で行い、ご説明をして「園庭の野点が楽しみ」とお見えの方も多く、ボランティアの方の誘導で混雑もなく、流れが良くご奉仕の方々のお陰様で無事に終了出来ましたこと、心から感謝を申し上げます。今後とも日本文化の茶道を伝承して、地域に貢献して参りたいと思っております。

春の野点(二松庵) ～旧川合玉堂別邸～



『金沢の史跡・世界遺産登録』講演会



3月14日(日)、金沢公会堂にて、横浜金沢

観光協会主催の「金沢の史跡『世界遺産登録』講演会」が開催され、これに私たち横浜金沢文化協会と横濱金澤シティガイド協会が共催し、横浜市金沢区役所、横浜市教育委員会が後援した。当講演会は3部構成になっていた。

第1部は、鎌倉市世界遺産登録推進担当課長補佐・玉林美男氏から「世界遺産としての鎌倉」と題する講演。世界遺産の国内外の現状と登録手続き等についての懇切な解説があった。

第2部は、「金沢八景を詠う」と題する詩の朗詠。鎌倉鹿鳴会員の朗詠と箏曲絃伶会員の箏の演奏により、歌川広重の絵「金沢八景」の漢詩の朗詠に始まり、「鎌倉八景」の朗詠で終わった。

第3部は、神奈川県立金沢文庫学芸課長・西岡芳文氏の「世界遺産としての金沢・六浦」と題する講演であった。丁度鎌倉鶴岡八幡宮の大銀杏が倒れた頃でもあり、金沢の銀杏の木の現状と金沢文庫保存の古文書に基づく金沢六浦の歴史と世界遺産に値する史跡等についての興味深い内容の講演であった。

400人を越える聴衆は、講演には真剣に聞き入り、詩の朗詠には心を和ませており、成功裡に終了した。



18回 第15回 金沢謡祭

8月8日(日)、金沢公会堂にて午前

10時開演。歌謡大会とは異なり、ゆつたりとした雰囲気。富士山栗原新田から大野かずお様が一番乗り、「湯の里しぐれ」「望郷新相馬」を歌唱。次いで金沢区の歌姫の中村幸子先生が「愛はラブミー」「もくれん」を。生徒の上田保彦様は「人生夢太鼓」で実力を発揮。実力十分の清田幸子様は「龍馬残影」、山根素子様はご主人の励まして「夫婦舟」を歌の味を出して歌唱。ベテラン高橋豊太様の「ほうらい舟祭り」「月冴えて」など歌のレベルが一段と上がり、初出場の駒野佐多子様は「もくれん」で歌の楽しさが分かって来ましたと語る。年長の岸本ミツ子先生は生徒に負けず「気付けて下さい」「女の哀歌」「愛をありがとう」(3曲オリジナル)で、歌の素晴らしさを発揮。三木浜江様は一度はステージで歌ってみたかったと「カスバの女」を熱唱。デュエットの俵義信様と佐久間きみ子様は「横須賀慕情」を絶唱。

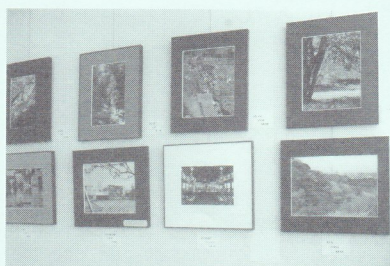


第15回

わたしたちの金沢写真展

今年金沢地区センターの改修工事のため、例年2月に実施されるところ、4月10日(土)から17日(土)までの桜の花を愛でながらの写真展となりました。会場には、個人会員6人・並木フォトクラブの4人・写団「夢」の8人・金沢フォトクラブの15人の方々の力作が並びました。

称名寺はいつでも絵になる所ですが、特に丸い橋の渡り初め式、野島でのカヌーの競演、海の公園のサンドアート、万灯みこし、ドンド焼、元日の漁港、瀬戸神社の御例祭等々の見応えのある作品が寄せられ、700人に及ぶ市民の方々に楽しんで頂きました。



君ヶ崎ギャラリーに

短歌を展示

文化協会文芸部所属の「金沢区民歌人会」では、横浜金沢文庫郵便局のご好意により、同郵便局内設置の「君ヶ崎ギャラリー」に、8月2日(月)から2週間、会員の短歌を5首掲出させて頂き、来客の短歌に対する関心の醸成に努めた。



第9回 金沢区青少年文化伝承事業

塩田による塩づくり教室



平成14年に始めた塩づくり実行委員会主催の「塩田による塩づくり」は今年で9回目になります。二部に分かれていて一部は7月17日(土)の「塩の道ウォーク」でした。金沢区役所にて参加者約50人は、前年度の記録ビデオを見てから、バスに乗車して朝比奈バス停で下車。塩の道とも言われる朝夷奈峠を、塩嘗地蔵を祀る鎌倉十二所の時宗岩藏山光触寺まで歩き、昔の人達の苦労を偲びました。

さて本番の二部は、7月25日(日)の金沢海の公園砂浜にての塩づくり体験です。今年は、参加校17校、生徒44人、保護者26人、実行委員会等主催者側22人が炎天下の海辺に勢揃いしました。例年通り、塩田5面の区切り・ゴミ拾い・海水まき・煮詰め・ニガリ抜きと進行了しました。

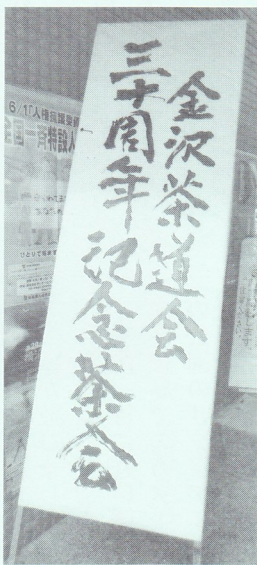


参加者の生徒にはスタッフが手取り足取りして指導、今年は熱中症防止策としてスポーツドリンクを支給したほか、工程を短縮して木陰で休む時間を多くしました。工程短縮は海水まき、乾燥の繰り返し3回を2回としましたが、その結果、収穫量が若干落ちた程度でした。全体的には、良く出来ました。合間に、西瓜割りを楽しみ、全員に手づくりの塩を土産に解散しました。

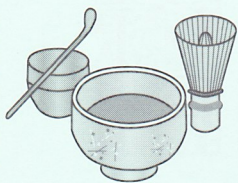


金沢茶道会は創立30周年を迎え5月16日(日)、金沢地区センターにおいて記念茶会を盛大に開催しました。区内外からお忙しい中、300人以上の方々の参加がありました。

和室は、裏千家現会長席で、お家元三代に亘るお祝に因んだ道具が披露され、身近に拝見でき、金沢のテーマが表現されていることに感銘を受けま



した。ロビー立礼は、表千家元会長席で、お家元はじめお祝にふさわしく取り揃えられ、一番気を使うお花がめでたく生き生きとして、日頃のお心入れが伺われました。金沢茶道会は、利休の心、即ち美しい日本の風土、気候、文化、工芸等、雪月花を愛で様々な人々の敬う心を大切に茶道の指導に精進し、区内の行事に参加協力を惜しまず、今後の発展のため、努力致す所存です。ご支援して下さいる皆様に会員一同深く感謝申し上げます。



児童文化部の出前文化教室

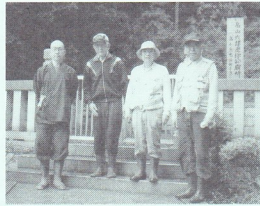


文化協会の事業の一つに、各所に出向いて行う出前教室があります。児童文化部では現在、区内の中学校、小学校、学童保育所、地区センター、地域の各施設等で時間単位の活動を行っています。中学校ではオリジナル絵本講座、小学校、学童保育所では朗読を主とした本との関わり、地区センターや地域の施設では、母子のためのパネルシアター、読み聞かせ、手遊び歌などそれぞれにあった内容で毎月の活動をしています。今、10年を経て、眩しい位に成長した子供達に合うと、もしかしたら、その眩しさの中に、私たちとの関わりが超最小無限大(?)で存在している事もあるかな...と想像したりしています。だから...まだまだ続行中!

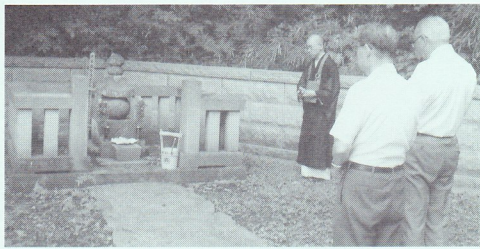
畠山重保公廟所の 清掃活動と墓前祭

釜利谷禅林寺の境外墓所「畠山六郎重保公廟所」は、白山道トンネルの釜利谷側にあり、地元では「六郎さん」の愛称で親しみを込めて呼ばれています。重保公の命日は6月22日で廟所には立派な五輪塔があります。文化協会は地元町内会と協力して、毎年命日前と秋口の2回清掃をしております。雑草が1m近く伸びて毎回40袋くらい刈取っています。

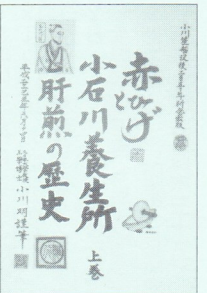
今年は命日に、禅林寺住職の読経のもと、墓前祭に参列しました。清掃・墓前祭共々に清々しい一日を体験させていただきます。合掌



合掌

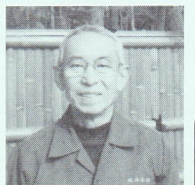


赤ひげ先生こと小川笙船・藤原廣正は、江戸の病人救済目的で「施薬院」の設立を、8代將軍徳川吉宗の目安箱に懇願した結果、1929年(享保7年)12月13日、「小石川養生所」として開院、初代肝煎(院長)に就任した江戸の町医者です。赤ひげ先生は89歳で亡くなる前、金沢の瀬ヶ崎に住み、「山にいたるときは海を語り、海にいたるときは雲を語る」と言っており、雲語子と自称し、金沢八景をこよなく愛し、日本の医学の進歩に貢献した名医です。平成13年、子孫の小川明氏が檀家と文化団体の協力で、雲語子の墓を、金沢区片吹の臨濟宗建長寺派、海蔵山太寧寺に再建しました。今年で歿後251回忌にあたる6月14日(月)、太寧寺で法要と小川明氏の「赤ひげと小石川養生所肝煎の歴史」上・下巻の出版記念会が執り行われました。



赤ひげ先生の 二五一回忌祭

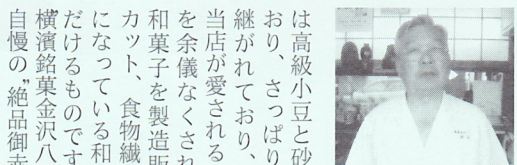
賛助会員紹介



植周造園株式会社 大胡周一郎
明治9年創業。初代の名が周蔵であり、植木屋の周蔵で植周と号した園号は山花園で修業先の西花園から一字もらった。

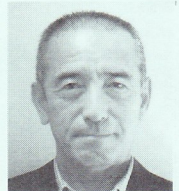
明治の初め、金沢の海岸線は別荘地帯となり三条実美、伊藤博文等を市島家別荘など多くあり、それらの庭にお出入りを頂き、まずは業績を保ってきた。周蔵死去に付き、隆治が二代目を継承する。隆治25歳の折、日本画壇の最高峰の川合玉堂画伯が富岡の風光を愛でられ別邸を営まれた。その作庭に携わることが出来た。雑木を主体とする自然風の庭は以後の我が社の進む方向付けがされたように思われる。後年牛込の本邸、御岳の偶庵の庭も手掛けることになる。三代目謙一は、仕事名人で垣根、石積み、延段など細工仕事は特に上手で、庭門や四阿などは、大工に手を煩わすこと無く一人で丸太の切組から屋根葺きまでこなした。

私は四代目として、先祖の努力して来たことに思いを至らせ、日々真摯に仕事を積み重ね、お得意様始め地域の皆様にお力を頂きながら庭作りを続けて行けるよう努めてまいりたいと思っております。幸い息子も五代目として家業を継ぐべく研鑽を積んでおります。これから、ご指導の程宜しくお願いいたします。



横浜紅谷 鈴木 道弘
創業し本年で61年が経ちました。京急富岡駅東口そばで店舗展開しており、おいしい和菓子の店として地域住民はもとより遠方の皆様にも愛されております。和菓子は餡が命、当店の餡は高級小豆と砂糖、塩の絶妙のバランスで成り立っており、さつぱりとしたその旨みは初代より當り受け継がれており、お客様に愛される所以であります。当店が愛されるもう一つの特徴は糖尿病等で糖分カットを余儀なくされている人達にも安心して食べられる和菓子を製造販売していることです。カロリー30%カット、食物繊維入りで血糖値が急激に上昇しないようになっている和菓子です。勿論一般の人もおいしくいただけるものです。また、金沢区認証ブランド和菓子、横濱銘菓金沢八景や一松庵、各種御祝儀等には当店自慢の「絶品御赤飯」のご利用をおすすめ致します。

個人会員紹介



写真部 坂 直孝
早いもので金沢区の住民となつて26年になりますが、地域のための活動といえは、40数年勤務した神奈川トヨタ本社が

神奈川区に所在したため、警察署協議会、交通安全協会、区民協議会、火災予防協会の役員等全て神奈川区での活動でした。僅かに、平成17年より地域の横浜並木男声合唱団の關係で現在のNPO法人横浜金沢文化協会の活動に関わりました。昨年9月に公職から退き、これからは地域の文化の発展に微力ながら力を入れて参りたいと思ふ新米の事務局長です。宜しくお願ひします。



歴史部 橋本 藤子
開港百周年の年に横浜市民となつて以来、市内を転々としてきましたが、12年前に金沢区の住民になりました。自分が

住むことになった街について知りたくて、ちやうどその頃に募集のあつた横濱金澤シティガイド協会のガイド養成講座を受け、現在に至つています。協会での活動を通して、金沢を知ることが出来ただけでなく、いろいろな方と出会えたことが自分にとって、貴重な財産になっていきます。

山や海から眺めた風景の美しさ、四季折々の樹木や花の見どころ、地域の伝統行事や神社、仏閣、石碑などから知ることが出来る歴史の面白さなど金沢の魅力を少しでも多くの方に伝えられるように努力していきたいと思つていきます。

文化協会の行事予定(日程順)

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes events like '9月19日(日) 金沢公会堂 かなすい秋のコンサート', '9月26日(日) 金沢地区センター 第12回金沢区児童生徒読書大会', etc.

Table with 2 columns: Phone Number and Fax Number. Includes numbers like (784) 4192, (701) 0933, (701) 4964, etc.



団体会員紹介

12月5日(日)に、金沢区日本舞踊連盟が開催いたします「歌舞伎舞踊が原点にあります。日本舞踊を、多くの皆様へ伝統文化として伝えたく続いております。衣装、かつら・歌舞伎にたずさわる方々に協力を頂き、日本舞踊の素晴らしい舞台を見る機会として努力しております。多くの区民の皆様のご来場を、お待ちしております。



金沢区吟剣詩舞道連盟

金沢区吟剣詩舞道連盟の初代理事長は『詩吟は剣舞を華やかにし、詩舞は詩吟を艶やかにする、車の両輪のようなもの。また、礼と節を重んじ、伝統芸術となることを念ずると共に子供教育にも生かしたい。』と常々理想を語っていらつしやいました。当会は、この趣旨に則り活動を続けております。

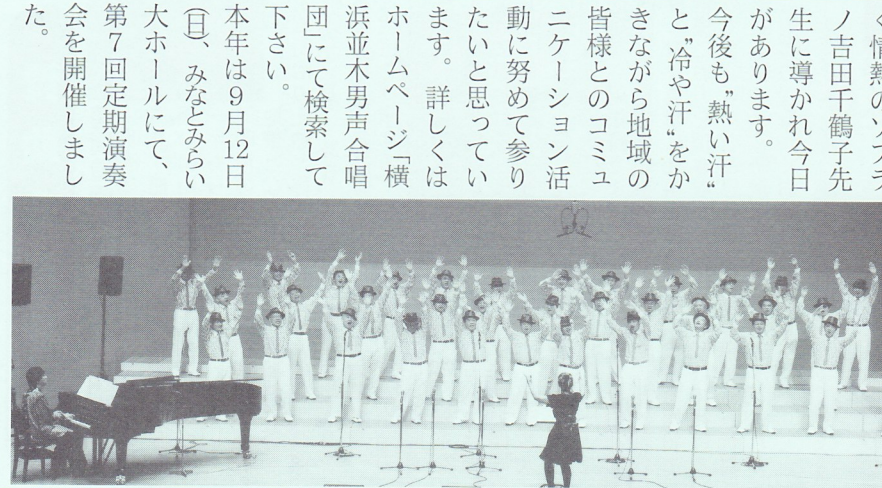
各分会員が切磋琢磨して立派な日本の芸術となるようにという強い信念の元に、現在では、12会派が参加しております。目的が一致すればまとまりも良く、益々盛んになり地元でも注目を集める程に成長しつつあります。一昨年は10周年記念大会を終え、今年も、10月16日(土)、12周年記念大会を迎えます。

今年テーマは、定番の金沢八景詩歌、特別構成番組「詩歌で綴る旅日記、北から南へ」、歌謡吟詠コンクール等となっております。



横浜並木男声合唱団

1994年10月に職場以外でのコミュニケーションの場を...との発想から誕生。殆どのメンバーが合唱未経験者、カラオケと合唱の区別もつかない「歌うのが大好きなおじさん達」が船出し、時を経て高齢者の域に達した平均年齢66歳の「YNDG」人呼んで横浜並木ダンシング合唱団、文字通り踊る男声合唱団です。「本物を楽しく」「楽しく歌って楽しく聞いてもらう」をモットーに、厳しく暖かく指導していただく情熱のソプラノ吉田千鶴子先生に導かれ今日があります。



金沢区書道協会

金沢区書道協会は、昭和62年、区在住書道家の有志が、伝統芸術「書道」を通して、区民の文化活動の振興・発展として、伝承を願い設立されました。現「NPO法人・横浜金沢文化協会」発足には大きな原動力ともなりました。

この金沢区書道協会の事業の一つは、今年2月「第23回・金沢区書道協会展」です。古典を踏まえた伝統の漢字、流麗でみやびの世界へ誘う、心幽やかな・かな文字。時代で生れた近代詩文、多彩絵入りの作品など、作品ごとに個性あふれ、多彩で楽しめる展示で多くの参観の方々に「書」の魅力をお伝えしております。



編集後記

異常な暑さにもかかわらず、当協会加盟団体の皆様のご定通りのご活動・ご活躍には、頭が下がりました。汗をかきつつ、皆様のご活躍の軌跡をまとめさせて頂きました。

編集委員

- 一之瀬 焔次・氏家 総子・小櫃 健一・後藤 政也・佐野史 瑞子・白井 俊一・鈴木 稔・野中 建吾・坂 直孝・森川 淳子 (五十音順)